

三浦重光(宋平八郎)

戦文資料

獨立歩兵第三大隊(宋平八郎)

大隊長陸軍中佐中山八郎

21.1.12
第一編

1207

獨立歩兵第三四三大隊(本島)

大隊長陸軍中佐 中山八郎

戰史資料

一、編成裝備關係

1. 自己部隊及關係部隊ノ編成人員兵器彈藥附表第一

ノ如シ

2. 職員表(將校全員)附表第二ノ如シ

3. 人員兵器等ノ増減關係

守備期間ヲ通シ特記スル増減ナシ

4. 台湾人朝鮮人現地住民ノ使役關係ナシ

二、部隊履歴ノ概要

昭和十八年十一月三十日 鉄嶺ニ於テ南洋第三支隊第三大

隊トシテ編成完結ス

十二月十五日 鉄嶺出發

昭和十九年十一月二十日 朝鮮釜山港出發

昭和十九年一月十日 南洋群島本島上陸同島守備

ニ任ズ

六月十日 獨立歩兵第三四三大隊ニ編成改正

昭和二十年八月十四日 終戦ニ伴ヒ作戰任務解除

十二月十四日 内地帰還ノ為本島出發

十二月二十四日 滞留上陸

二十七日 復員完結

三、指揮隸屬ノ關係其ノ變遷ノ概要

前項参照 昭和十九年六月十日 編成改正、依リ獨立混成隊

ニ旅團(南洋第三支隊基幹トス)ニ隸屬ス

四、作戰準備ノ關係

1. 作戰計畫ノ概要

防禦方針防禦配備ニ附圖第一ノ如シ

昭和二十一年(終戦時)

又、陣地、状況

(一) 起工時期、所要人員、使用資材。

起工時期 昭和十九年一月二十日

所要人員 約一万八、〇〇〇人日

使用資材 主として現地所在ノ「マングロ」材其他、硬

材ヲ用テ一部掩蓋等ニ南洋興發會社

所有ノ軌條ヲ使用ス

(二) 完成時期及強度

昭和十九年十二月(約一ヶ月)海岸據矣陣地共ニ「通り

ノ野戰陣地ヲ概成ス

但し多量ト用材ト「際急」ヨリ掩蓋ハ概ス一ヶ月ニシテ

廣山崩壊ス

昭和二十年七月(終戰時)半永久築城概成

(三) 敵攻撃ニ依ル破壊補修状況、概高事項ナシ

(四) 港湾施設、飛行場施設

概高事項ナシ

3. 作戦準備ニ關スル主要ナル命令 四、(一) 参照

4. 軍需品ノ集積状況

(一) 集積 各軍需品ハ作戦上ノ要求ニ基キ各陣地内ニ

格納施設ヲ構築シ集積ス

(二) 現地自治

給養實施ハ現地自治ヲ主眼トシテ之ガ徹底ヲ圖リ

携行セシ糧秣被服ハ總ベテ頑張戦斗用ニ充當極

力温存ニストメ糧秣ニ有リテハ主食ハ甘藷、ヤマッサバ、ヲ

以テ之近海魚ノ漁撈、野菜ノ栽培、野生草木ノ活用

ヲシテ副食品ノ充 足ヲセリ、被服ハ早業補修、實

施、カラテ織維利用、草鞋ノ使用、作業時履者略

等ニ依リ命數延長ニ努力シ以テ決戰時給養ノ円

滑ヲ期シタリ

昭和二十一年(參照)

終戦時ニ於ケル集積量ハ主食及缶詰共十五日分
山林内利用ニ依ル山芋「キヤッサバ」ヲ想収量約一ヶ
月分トス

5. 訓練ノ状況(戰鬥準備トシテ)

訓練ノ為、充當日数ハ敵情、作戰準備ノ關係ニヨリ
一月概ネ八一〇日トシ作戰任務ニ基キ概ネ左ノ如
ク訓練ス

昭和十九年六月迄(六ヶ月) 小隊教練完成

十月迄 中隊教練完成

大隊教練概成

爾後各方面ノ戰訓、戰例等ニ基キ及復演練ヲ重
ク概ネ初期ノ目標ニ到達セリ
射撃教育中實包(彈)ヲ以テスル教育ハ彈藥ノ不
足ヲ痛感セリ

五. 戰鬥狀況

該當ナシ

六. 給養衛生

(1) 給養ニ關シテハ四ノ六ノ(10)現地自治参考

(2) 衛生

全守備期間ヲ通シ將兵一同ノ健康状態ハ概ネ良
好ニ保持セリ守備勤務ニ支障ヲ生ゼシ疾病ノ多
發ヲ認めズ

主ニ疾患ハデングラ(熱帯潰瘍トシ樹ニ依ル皮膚炎)
感冒性疾患トシテ何レモ輕症タリ

全期ヲ通セン入院患者(死者者)ノ状況左記ノ如シ

病	名患者数	治癒	死亡	内地還送
結核性疾患	15	10		5
外傷	6	3		3
冒傷疾患	3	2		1

陸軍

神	經	痛	5	2	1	1	0
ハ	ル	ニ	ヤ	2	1	1	0
肝	臟	膿	瘍	1	0	1	0
痔	疾	疾	3	3	0	0	0
ワ	イル	氏	病	1	0	1	0
脚	系	系	1	1	0	0	0
溺	死	死	1	0	1	0	0
戦	死	死	1	0	1	0	0
デ	ング	熱	2	2	0	0	0
其	他	他	14	9	0	0	5
計			55	23	5	17	5

七、終戦ヨリ敗退迄ノ行動ノ概要

ハ、教育訓練ヲ專ラ現地自治ト國民教育体育力練成トニ指向シ國民トシテノ資質ノ向上ヲ圖ルト共ニ軍紀教練

ヲ重視シ軍紀風紀ノ維持ニ勉ム

ハ、戦斗準備ノ跡整理及後員ニ關スル事務整理ヲ進ム
ハ、後員迄概テ四月間特記スベキ事項ナシ

昭和二十一年(陸軍)

附表第一

編成人員兵器裝備教

計合	隊部下揮指					隊大三四二第兵歩士独					係科人員
	重砲一隊	工兵小隊	大隊一隊	獨立隊	第一中隊	步兵中隊	機關砲中隊	第三中隊	第二中隊	第一中隊	
117	7	30	45	4	10	12	17	11	11	11	13
409	4	29	22	20	40	26	24	17	17	17	13
13			4		35		24				
30			3					9	9	9	
31			3					9	9	9	1
9			2				7				
6							6				
4						4					
4						4					
8					8						
49			1			3	3	6	6	6	3
33		3	2			6	6	12	12	12	
145180	240	1760	7800	1000	4800			129400			
8120			320		1200			6600			
3030								2840			
91200								86400			
2820								2820			
3590								3590			
2040								2040			
9850					9850						
303			15					288			
1340		60	120					1160			
220		40						180			
140		60						80			
111		6			5			100			
160			40					120			
17								17			
40								40			
180								180			
4356			80	280	240			3650			

備考

浦賀上陸地支局

昭和十一年十二月五日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	南洋群島米六八島	職官	中隊長 陸軍大尉 上野道隆	終戦時 一ノ記入
所属部隊	獨立歩兵第三四二大隊	氏名	上野道隆	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	一歩兵第三大隊附 陸軍公士上級學校歩兵教導隊隊附 南洋第三大隊中隊長 獨立歩兵第三四二大隊中隊長 二歩加戦中隊長			
所属部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	昭和十八年十一月三日編成 一一般中隊 二中隊(三小) 機関銃中隊 一中隊(所任) 歩兵砲中隊 一中隊(所任)			
所属部隊作 戦經過ノ概 要	一作戰参加ス			
終戦又ハ主力 ノ戦斗終了後 ノ状況	一現地自治作業並道路補修作業ヲ実施ス 二米軍LSTヲ帰還ス			
帰郷又ハ連 絡ノ先	新潟			
其他ノ参考 事項				
帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス				
最終ノ所属 部隊ヲ記シ 尚其ノ以テ ノ所属部隊 ノ介ヲモ概 記ス				

廿七

浦賀上陸地支局

(昭和十年十一月二日)

史実調査参考資料報告

所在地

南洋群島 小島

職官 小隊長 陸軍中尉

摘要

終戦時ノモ
ノヲ記ス

所属部隊

独立歩兵第三四三大隊

氏名 井坂 千明

職ノ変更及
主ナル参加
戦斗名ヲ記
ス

支那事変以
降ニ於テ自
己ノ略歴

昭和九年五月至昭和十年十月、小隊長トシテ北支莫在地区及河洲治安警備ニ任ズ。昭和十年十一月南洋支隊付、昭和十一年六月小島上陸。昭和十一年六月九日、独立歩兵第三四三大隊付、小島上陸後同島警備。

所属部隊ノ
編成年月日
及编制整備
ノ概要

昭和九年六月九日
終戦時ノ
編成整備

本隊
第一隊
第二隊
第三隊
第四隊
第五隊
第六隊
第七隊
第八隊
第九隊
第十隊

最ルノ所属
部隊ヲ記シ
尚其ノ以テ
ノ所属部隊
ノ介ヲモ
記ス

所属部隊ノ
戦經過ノ概
要

南洋群島 小島ノ守備

終戦又ハ主力
ノ戦斗終了後
ノ状況

終戦後、南洋支隊及小島上陸隊等ノ作戦行動ノ詳細ヲ記ス。南洋支隊ノ輸送隊等ノ活動ノ詳細ヲ記ス。南洋支隊ノ輸送隊等ノ活動ノ詳細ヲ記ス。

帰還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

帰郷又ハ連
絡ノ先

茨城野



其ノ他ノ参
考事項


木下

浦賀上陸地支局

(昭和十年十二月十五日)

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	職官	職名	摘要
所屬部隊 支那軍、支以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	南洋群島本十島 松平五三三三大隊	氏名 高木國三 小隊長陸軍中尉	職ノ変更及 主ナル参加 戦年名ヲ記 入 職ノ変更及 主ナル参加 戦年名ヲ記 入
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 概要	編成年月日 昭和十九年六月九日 大隊本部 一機中隊 一機中隊 一中隊 一中隊	最格ノ所屬 部隊ヲ記シ 尚其ノ以テ ノ所屬部隊 ノ介ヲモ 記ス	所屬部隊ノ 概況 木下ノ奮闘 概況
終戦又ハ主力 ノ戦斗終了後 ノ状況	終戦後、南洋群島本十島建設隊依業及現地自給 二連進日本建設隊ノ勤勞精神美談或ハ 輸送前、連送先充分ナリシモ輸送内、概 ナリ滞ニ突ハ施ス	歸還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス	歸郷又ハ連 絡ノ先
其ノ他ノ参考 事項	神奈川縣 		

浦賀上陸地支局

昭和二十年十一月五日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

南洋羣島ボラネ島

職官

小隊長
陸軍中尉

所属部隊

獨立歩兵第三百四十六隊

氏名

金澤正吉

終戦時ノモ
ノヲ記ス

支那事変以
降ニ於ケル自
己ノ略歴

一歩兵第三聯隊附
南洋才三支隊小隊長
獨立歩兵第三四三六隊小隊長
ニ参加戦ナリ

職ノ変更及
至ナル参加
戦年名ヲ記
ス

所属部隊ノ
編成年月日
及編制裝備
ノ概要

一昭和十八年十一月三十日編成
二一機甲隊 三一中隊 一三小隊
機甲銃甲隊 一ノ中隊 (M912)
歩兵砲中隊 一ノ中隊 (A4)

最終ノ所属
部隊ヲ至三
尚其ノ以テ
ノ所属部隊
ノ介ヲモ概
記ス

所属部隊作
戦経過ノ概
要

一作戦参加ナリ

終戦又ハ主力
ノ戦ヲ終了シ
ノ状況

一現地自活作業並道路補修作業ヲ実施ス
二赤軍LSTニテ帰還ス

帰還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

帰郷又ハ連
絡ノ先

兵庫縣

其ノ他ノ参
考事項

特記事項

史実調査参考資料

所在地 南洋群島、オナヘ島

職官 部隊本部附
陸軍少佐 大尉
氏名 千賀 英夫

参戦野
隊員名
氏名

支那事変
以降、
自他、
自他、
自他、

昭和十九年十月、南洋群島に於て、
自他、自他、自他、
昭和十九年十月、南洋群島に於て、
自他、自他、自他、

参戦野
隊員名
氏名

所屬部隊
編成
月日

昭和十九年十月、南洋群島に於て、
自他、自他、自他、
昭和十九年十月、南洋群島に於て、
自他、自他、自他、

参戦野
隊員名
氏名

所屬部隊
編成
月日

昭和十九年十月、南洋群島に於て、
自他、自他、自他、
昭和十九年十月、南洋群島に於て、
自他、自他、自他、

参戦野
隊員名
氏名

所屬部隊
編成
月日

昭和十九年十月、南洋群島に於て、
自他、自他、自他、
昭和十九年十月、南洋群島に於て、
自他、自他、自他、

参戦野
隊員名
氏名

終戦(又)
手ノ戦
終了後
状況

終戦後、オナヘ島上陸以來、オナヘ島の東南地区に於て、
自他、自他、自他、
終戦後、オナヘ島上陸以來、オナヘ島の東南地区に於て、
自他、自他、自他、

参戦野
隊員名
氏名

連絡先
長野縣

長野縣 [Redacted]

其他
特記事項

特記事項 [Redacted]

21